

始



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 15  
10 20 1 2 3 4 5

14.2  
1

肩縣勸業處

大8

米穀消費上節示宣傳

大8

大正八年十一月

米穀ノ消費卜節米宣傳

石川縣

第勸業十報號告

1425/

緒 言

一、本報告ハ最近ニ於ケル縣内米穀ノ消費ニ關スル調査並節米宣傳ニ

關スル成績ヲ登載シタルモノナリ

大正七年產米

消費見込額ニ關スル調査ハ本縣穀物検査所ノ調査

主混食代用食宣傳ニ關スル施設及成績ハ本年十二月迄ニ於ケル事



目

次

- 一、大正七年產米消費見込額
- 二、同上各月消費見込額
- 三、一人當米消費額實例
- 四、混食代用食實行戸數
- 五、同上郡市別實行戸數
- 六、混食代用食宣傳ニ關スル施設並成績
- 七、混食代用食ノ種類



# 一、大正七年產米消費見込額

(自大正七年十月  
至大正八年九月一箇年間)

大正七年產米月別消費見込額

四、混食代用食實行戶數

(但シ小學校兒童戸數ニ付  
大正八年十月現在調査)

### 三、一人當米消費額實例

(大正八年五月調査)

職業別 家族數	全上各人年齡	常食物	米麥消費量	一人一年消費量	調查施行地
農業(小作農)	六、五歲、三歲、二歲、一歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
(地主)	四、三、二歲、一歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
(自作農)	六、五、三、二歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
(自作兼)	六、五、三、二歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
(地主)	六、五、三歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
(小作兼)	六、五、三歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
全業(雜貨商)	六、五歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡
商業	六歲	米麥飯	米麥	米麥消費量	鹿島郡

總 計	混食代用食計		二〇、三三 二、六〇	一〇、〇	八〇	二、四二 二、七三	七九
	内地米常食	計					
江	珠	金	江	石	能	江	混食代用食計
沼	鳳	珠	沼	鹿	川	沼	二〇、三三 二、六〇
北	羽	洲	北	河	美	北	二、四二 二、七三
川	河	至	川	石	沼	沼	七九
昨	昨	市	昨	能	至	至	七九
郡	郡	市	郡	沼	市	市	七九
市	市	別	市	沼	別	別	七九
郡	郡	別	郡	沼	別	別	七九
市	市	別	市	沼	別	別	七九
別	別	別	別	別	別	別	七九

備考 一、「縣下總戸數ニ對スル實行戸數」欄内「戸數」ハ「割合」ヲ以テ「總戸數」ニ乘シタルモノナリ

## 五、混食代用食郡市別實行戸數

郡 市 別	混食代用食計		二〇、三三 二、六〇	一〇、〇	八〇	二、四二 二、七三	七九
	内地米常食	計					
江	珠	金	江	石	能	江	混食代用食計
沼	鳳	珠	沼	鹿	川	沼	二〇、三三 二、六〇
北	羽	洲	北	河	美	北	二、四二 二、七三
川	河	至	川	石	沼	沼	七九
昨	昨	市	昨	能	至	至	七九
郡	郡	市	郡	沼	別	別	七九
市	市	別	市	沼	別	別	七九
別	別	別	別	別	別	別	七九

備考 一、「郡市ノ總戸數ニ對スル實行戸數」欄内「同上ノ内實行戸數」ハ「實行割合」ヲ以テ「總戸數」ニ乗シタルモノナリ

乗シタルモノナリ

## 六、混食代用食宣傳二關スル施設並成績

### 1、縣ニ於ケル施設並成績

一、外國米購入運賃諸雜費補給

本年八月五日以後郡市、町村、農會、產業組合其ノ他消費者ノ團体ニ於テ外國米ヲ購入スル場合ニハ購入ニ要セシ運賃、諸雜費ヲ縣費ヲ以テ補給シツ、アリ、此ノ經費九千九百圓ニシテ十月末日迄ニ於ケル右購入數量左ノ如シ(一袋約七斗)

郡 市 別	購 入 數 量	郡 市 別	購 入 數 量
江	一、二一五	江	一、二一五
沼	二、六二〇	沼	二、六二〇
北	一、五六〇	北	一、五六〇
川	六八九	川	六八九
昨		昨	
郡		郡	
市		市	
別		別	

### 2、節米宣傳講演會及試食會

各郡ニ於テ混食代用食等ノ節米ニ關スル講演會ヲ開催シ同時ニ試食會ヲ行ヒ之レカ宣傳ニ努メツ、アリ既往ノ成績左ノ如シ

開 催 地	月 日	聽 講 者	講 師
江沼郡大聖寺町	九月九日	一六〇人	河崎本縣理事官
河北郡津幡町	十月二十五日	六五〇人	峰田 一歩

江沼郡大聖寺町	十月二十一日	七〇〇	峰田 一歩	羽咋郡羽咋町	九月十二日	八〇	春日本縣技師
能美郡久常村	九月八日	五〇	河崎本縣理事官	鹿島郡七尾町	九月十八日	一七〇	松田本縣技師
全 小 松 町	十月二十二日	六五〇	峰田 一歩	鳳至郡輪島町	九月八日	一九八	春日本縣技師
石川郡松任町	八月二十二日	四三〇	河崎本縣理事官	珠洲郡飯田町	九月十一日	七〇	松田本縣技師
全 河北郡津幡町	十月二十三日	五一〇	峰田 一歩	金澤市	十月二十四日	四八〇	峰田 一歩
河北郡津幡町	九月六日	一三〇	行方本縣技手	計	三十一同		

### 三、印刷物配布

本年八月「節米の奨め」ナル小冊子二千部ヲ印刷シ郡市役所、町村役場、青年團、産業組合及學校等へ配付シ又本年九月一日ヨリ五日間金澤市ニ於テ開催ノ理科學展覽會ヲ機トシ「安い食物」ナル小冊子一萬部ヲ印刷シ展覽會來觀者ニ配付シタリ

### 四、實演及試食

前項理化學展覽會ノ附帶事業トシテ「安い食物」ニ記載ノ食料品ノ調理法ヲ實地觀覽セシムルト共ニ之ヲ婦人千四百余人ニ試食セシメ又有力ナル官民ノ男子六十四人婦人六十五人ヲ特ニ招待シ「安い食物」ヲ以テセル晝食會ヲ開催シ食糧ニ對スル研究工夫ヲ促セリ

### 五、講習會

本年十月内務省開催ノ代用食混食實講習會ニ出席ノ縣立女學校教師貳名ヲ講師トシ愛國婦人會石川支會及篤志看護婦人會石川支部ノ主催ヲ以テ十一月一、二、八、九ノ四日間及十二月六日金澤市内縣立

### 六、節米獎勵員設置

節米獎勵員一名ヲ嘱託シ混食代用食ノ獎勵宣傳ヲ爲サシム

### 口、郡市ニ於ケル施設並ニ成績

#### 江 沼 郡

(一) 大聖寺町ニ於テハ奉公節米會ヲ設ケ本年八月ヨリ内地米ニ二割以上外國米又ハ麥ヲ混合スルコト、シ會員及會員ノ家族ハ現ニ實行シツ、アリ現在會員二千九百人ニ達セリ本會規約左ノ如シ、

第一條 本會ハ奉公節米會ト稱シ事務所ヲ大聖寺町ニ置ク  
第二條 本會員及其ノ家族ハ節米主義ニ依リ常時二割以上ノ混食ヲ實行スルモノトス  
第三條 本會員ノ混食スヘキ食糧ヲ指定スルコト凡ソ左ノ如シ

麥、粟、外米、甘薯、馬鈴薯

第四條 本會ニ加盟セムトスル者ハ加盟誓約書ニ混食ノ分量ヲ記入シ記名調印スルモノトス

第五條 前條所要ノ麥及外米ハ需要ニ應シ本會指定商ヲシテ配付セシムルモノトス

(二) 大聖寺町ニ於テ九月九日及十月二十二日ノ前後二回ニ涉リ節米講演會ヲ開キ宣傳ニ努メタルカ何レ

モ聽衆數百名ニ達シ其ノ效果尠ナカラス又九月十日勅使村十二月二十六、七日山代町及山中町ニ於テ民力涵養委員、在郷軍人團員、青年團員及神職僧侶等二百五十余名ニ對シ宣傳講演會ヲ開キタリ（十一月二十日、十二月三日報告）

### 能美郡

(一) 九月五日中海村ニ於テ節米講演會ヲ開キ來會者ハ中海、白江、板津各村ノ青年團、在郷軍人團、民力涵養實行委員等併セテ五十名ニシテ講演會終了後試食會ヲ開キ麥、外國米又ハ馬鈴薯混食ヲ勵行スルノ決議ヲ爲シタリ（九月八日報告）

(二) 吉田村、湊村、根上村、寺井野村ニテハ節米勵行ノ目的ヲ以テ民力涵養實行委員會ニ於テ麥、外米、馬鈴薯ノ混食ヲ實行スルコトニ協定シタリ（九月六日及同十日報告）

(三) 民力涵養實行委員會及試食會ヲ左記ノ通開催シ節米實行ヲ期シタリ

月 日	會 場	來 會 者	月 日	會 場	來 會 者
九月八日	久常村	五〇人	九月廿九日	尾口村	一二人
九月十一日	大杉谷村	五〇人	十月一日	白崎村	三六人
九月廿八日	鳥越村	三六人			

（十月三日報告）

(四) 小松町ニ於テハ混食代用食者戸數ハ總戸口ノ約八割ノ見込ニシテ内外國米混用四割、麥混用三割其他一割ノ實行ヲ見ルニ至レリ（十月十三日調）

### 石川郡

(五) 節米宣傳ノ結果混食代用食實行者數ハ郡内總戸口ノ八割以上ニ達セル見込ナリ（十一月十二日報告）(六) 本年九月ヨリ郡役所在勤者ハ全部麥、外國米又ハ麵麪類ヲ以テ晝食トシ率先混食代用食實行ノ範ヲ示スヘク勵行シツ、アリ

(一) 八月二十三日松任町ニ於テ民力涵養並ニ節米大講演會ヲ開キ併セテ馬鈴薯飯ノ試食ヲ行ヒタルカ來會者ハ町村長及町村吏員、青年團長、在郷軍人團長及民力涵養實行委員、僧侶、神官、官公署俸職者其ノ他一般聽衆ヲ併セ四百三十名ニ達セリ

(二) 松任町ニ於テハ混食代用食者ハ總戸口ノ七割ヲ占メ内外國米混用者四割麥混用者三割ノ狀況ニシテ節米獎勵ノ結果從來ニ比シ實行者著シク増加セリ（十月十二日調）

(三) 節米獎勵ノ成績左ノ如クニシテ町ニアリテハ主トシテ外國米消費者劇増シ農村ニアリテハ安原、藏山、野々市、押野、野、湯涌谷、崎浦、丸、鞍月、弓取、栗ヶ崎ノ各村ハ主トシテ外國米ノ混食代用食者増加シ其ノ他ノ各村ニアリテハ主トシテ麥又ハ雜穀、馬鈴薯ノ消費者多クヲ見ルニ至レリ（十月三十日報告）

現住戸數ニ對スル混食者割合

町 平 均(四ヶ町)	八割八分 (最多九割九分 最少七割五分)
村 平 均(四十ヶ村)	五割七分 (最多十割 最少九分)

平 均 六割分 (總戸數一九、〇二三戸ノ内一三、二二〇戸) 一〇

河 北 郡

- (一)、八月二日郡役所吏員ノ組織セル土曜會主催トナリ郡役所々在地タル津幡町ニ於ケル官公署及學校職員四十五名會同シ馬鈴飯ノ試食會ヲ行ヒ互ニ其ノ實行ヲ期シタリ  
(二)、津幡町ニ於テ八月七日町村長ヲ召集シ講演ヲ兼ネ試食會ヲ行ヒ又八月十五日本郡鄉友會ノ主催ヲ以テ節米宣傳講演及試食會ヲ開キ來會者百四十名ニシテ節米普及上多大ノ效果ヲ舉ケタリ  
(三)、郡役所在勤者ハ混食代用食ヲ實行スルコト、シ麥及外國米ハ共同購入ニ依リ各自分配スルコト、爲セリ(以上八月二十八日報告)

(四)、本郡字ノ氣村字大崎ニテハ本年二月ヨリ部落民百五十戸全部ニ付一人一日一合以上ノ外國米又ハ臺灣米ヲ混食スルコトヲ申合セ現ニ外國米ハ四割臺灣米ハ三割ヲ混合シ常食トセリ混食ニ充ツル外國米臺灣米ハ共同貯金ヲ以テ共同購入ヲ爲ス

羽 昨 郡

- (一)、九月十二日羽昨町ニ於テ節米講演會ヲ開ク來會者ハ町村長產業組合役員小學校教師、青年團員等八十名ニシテ講演會終了後試食會ヲ開キ節米ノ實行ヲ期シタリ  
(二)、節米宣傳ノ爲「節米の奨め」ナル印刷物ヲ郡費ヲ以テ作製シ汎ク郡内町村役場、學校、青年團等へ配付シ又講演會開催ノ際左記ノ「申合規約」ヲ以テ相互ニ實行ヲ爲スヘク努メツ、アリ

申 合 規 約

食糧問題ハ現下本邦ノ最重要ナル問題ニシテ且米價ハ日々奔騰シテ其ノ底止スル所ヲ知ラス而シテ之カ解決ト調節ヲ圖ラムニハ國民各自ノ自覺自制ニ俟タサルヘカラス仍テ吾人ハ左記各項ヲ實行シ以テ節米ノ普及徹底ヲ期セムトス

左 記

- 一、産業組合、青年團、在郷軍人會其ノ他ノ團體カ率先シテ混食及代用食ノ普及實行ニ努ムルコト  
二、民力涵養ニ關スル團體(町村自治改良會)ノ活動ヲ促シテ麥、馬鈴薯、甘薯ノ代用食ノ獎勵ニ努ムルコト  
三、官公吏學校職員等率先其ノ常用トシテ混食又ハ代用食ヲ實行スルコト  
四、學校生徒兒童ノ晝食ニハ可成混食又ハ代用食ヲ用キシムルニ努ムルコト  
(三)、十一月四日羽昨町ニ於テ小學校長及青年團長會議ノ際節米宣傳講演ヲ爲シ終リテ試食會ヲ行ヒ其ノ徹底ニ努メタリ

鹿 島 郡

- (一)、本年九月七尾町、能登部村、中島村ノ郡内樞要地ニ特ニ民力涵養ニ合セ節米講演會ヲ開催セリ來會者ハ町村吏員、民力涵養實行委員、町村公職者、小學校教員等約五百名ニ達セリ北大呑村、赤藏村、越路村、石崎村ニ於テモ節米ニ關スル講演ヲ行ヒ普及徹底ニ努メツ、アリ

(二)、本郡役所廳員一同ハ率先節米ノ實行ヲ期スル爲メ本年九月ヨリ申合セ餧飴、蕎麥ヲ晝食ト爲シツ、アリ

(三)、本郡農村ハ一般ニ麥ヲ混食スルノ慣習アリテ近時益々麥ノ消費量增加セルノミナラス甘薯馬鈴薯ノ混食者モ亦漸次多キヲ加フル趨勢ヲ致セリ(以上十一月十二日報告)

(四)、七尾町ニ於ケル混食代用食者ハ總戸口ノ六割ヲ占メ内外國米混用者ハ一割麥混用者ハ四割其ノ他一割ノ狀況ニシテ實行者漸次增加シツ、アリ

### 鳳至郡

- (一)、九月八日輪島町ニ於テ節米ニ關スル講演會ヲ開ク來會者ハ町村長、小學校長、僧侶、官公吏等約二百名ニシテ節米宣傳上多大ノ效果ヲ收メタリ
- (二)、左記ノ通民力涵養實行委員、町村長、區長、郡村會議員、小學校教員、警察官、地主、青年團、在郷軍人團員等ヲ會同シ縣ヨリ配付ニ係ル「節米のすゝめ」ノ趣旨ニ準シ講演及試食會ヲ爲シ毎會左ノ決議ヲ爲シ目下其ノ實行宣傳ニ努メツ、アリ(九月三十日十月廿一日報告)

月	日	會場	來會者	月	日	會場	來會者
九月十九日	西保村		二〇〇人	十月二日	穴水町		二三〇人
九月十八日	字出津町		三〇〇	十月二十四日	櫛比村		二〇〇
九月二十日	南北村		二五〇				

(十月廿八日報告)

### 決議

民力涵養上節米ノ普及ヲ圖ル爲代用食及混食ヲ實行シ併セテ之レカ宣傳ニ努ムルコト

(三)、官公署學校出勤者ハ率先節米ノ實行ヲ爲スニ至リ晝食辨當等ニ於テモ混食代用食ニ依ル者增加シ從ツテ一般地方民ハ近時普ク麥、馬鈴薯、甘薯、黍、稗、粟、大根等ノ混食ヲ行フニ至リ獎勵宣傳ノ效果顯著ナリ(十一月十二日報告)

### 珠洲郡

(一)、產業組合等ノ團体ニ於テハ極力組合員ヲシテ代用食並外米混食ヲ獎勵シツ、アリ姫產業組合ニ於テハ外米五百袋ヲ共同購入シ常用シツ、アリ其ノ他組合ニ於テモ麥、甘薯ヲ混用ス

(二)、廳員出張ノ都度節米ヲ獎勵シ目下農家ノ七割ハ半搗米ヲ食用シ尙麥、黍、粟ヲ例年ヨリモ一層多量ニ消費シツ、アリ

(三)、目下收穫シツ、アル甘薯ニ對シテハ切干ヲ獎勵シ翌年春期迄貯藏セシメ食用ニ供スル様爲サシメツ

、アリ(以上十一月十一日報告)

(四)、左記各町村ニ於テ節米講演會ヲ開キ町村長、產業組合役員、小學校教員、青年團幹部等ニ對シ宣傳ニ努メタリ

## 七、混食代用食ノ種類

(四) 小學校ノ父兄會、母姊會等ニ於テ食料問題ニ關スル講話ヲ行ヒ或ハ混食代用食ノ試食會ヲ爲ス。

## 八、學校二於ケル實施事項

本年混食代用食獎勵ノ目的ヲ以テ馬鈴薯種薯(アーリーロース)百七十貫、玉蜀黍種子(ロンクフエロード)ニ斗、南瓜種子(ハッパート)ヲ以テ購入シ郡内小學校及同生徒ニ分配シ其ノ増殖ニ努メタリ

全	全	全	九	月	日	月
十三	十二	十一	六	日		
日	日	日				
三	四	飯	小	木	會	
崎	海	田	木	郎		
村	村	町	村	村	場	
八〇	三六	一〇〇	八〇	二六〇	人	聽
全	全	全	全	九	月	衆
十八	十七	十	十六	十	五	
日	日	七	日	六	日	
木	靖	岩	實	正		
耶	島	山	立	院	會	
村	村	村	村	村	場	
一〇〇	八〇	七〇〇	二四〇〇	八〇〇	人	聽

大正七年十二月十八日印刷  
大正八年十二月二十日發行

# 石川縣內務部

印刷所 活文堂

金澤市殿町九番地

堂

金澤市殿町九番地

宇野孝太郎

【電話六十五番】

印刷者



終

